

年 月 日

福島県知事 様

役職及び氏名を記入してください。押印不要。

住 所  
名 称  
代表者氏名

令和6年度産学連携ロボット研究開発支援事業費補助金事業計画書  
上記補助金について、下記のとおり事業計画書を提出します。

記

- 1 補助事業の目的及び内容（添付書類、別途様式に記載）
  - (1) 様式1 申請者概要説明書
  - (2) 様式2 研究開発計画説明書
  - (3) 様式3 収支計画書

- 2 研究開発テーマ名  
○○○ロボットの開発

- 3 補助金申請予定額  
金 20,000,000 円

令和6年度の補助金申請予定額を記入してください。※年間最大 20,000,000 円になります。

- 4 連絡先  
本件責任者名  
事務担当者名  
連 絡 先

1 申請者概要

住所	〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
名称	△△法人 福島工科大学
代表者役職 氏名(ふりがな)	理事長 福島 太郎(ふくしま たろう)
教職員数	2061名

2 プロジェクトマネージャー及び研究リーダーの概要及び事務担当者

2-1. プロジェクトマネージャーの概要

所属・役職	福島工科大学産学連携センター 教授
所属住所	同上
氏名(ふりがな)	郡山 太郎(こおりやま たろう)
電話番号	024-123-4567
E-Mail	Koriyama_Taro@.....

電話番号、E-mailともに、日中連絡のつくものをご記入ください

※詳細な経歴・研究業績等は「(様式2) 研究開発計画説明書」の「3. 研究開発の体制」にご記入ください。

2-2. 研究リーダーの概要

所属・役職	福島工科大学ロボット学科 教授
所属住所	同上
氏名(ふりがな)	会津 花子(あいづ はなこ)
電話番号	024-765-4321
E-Mail	Aizu_Hanako@.....

電話番号、E-mailともに、日中連絡のつくものをご記入ください

※詳細な経歴・研究業績等は「(様式2) 研究開発計画説明書」の「3. 研究開発の体制」にご記入ください。

2-3. 事務担当者(※事務担当者がある場合には記入すること)

所属・役職	福島工科大学産学連携センター 主事
氏名(ふりがな)	磐城 二郎(いわき じろう)
電話番号	024-000-1234
E-Mail	iwaki_jiro@.....

電話番号、E-mailともに、日中連絡のつくものをご記入ください

## (様式2) 研究開発計画説明書

### 1 研究開発の表題 (テーマ)

この様式については、適宜行を追加して作成してください。審査資料となりますので、簡潔かつ具体的にご記入ください。

なお、「1 研究開発の表題 (テーマ)」及び「2 研究開発の内容 (1) ~ (3)」については、片面5ページ以内となるよう作成してください。

また、説明図については別添資料での提出を可とします。

### 2 研究開発の内容

#### (1) 研究開発目標

##### ① 最終的に達成すべき目標

##### ② 本事業で達成すべき目標

#### (2) 本事業で実施する研究開発の内容

必要に応じて説明図等を挿入し、研究開発目標の達成に向けた**課題**と、その**解決方法**が分かるように記入ください。

#### (3) 共同研究企業の実用化開発等を見据えた将来的な構想

3年後の将来的な構想を記入下さい。

#### (4) 事業の実施場所

実施場所が複数予定されている場合は、全て記入します。

## 3 研究開発の体制

年 月 日 時点

## 3-1 プロジェクトマネージャーの経歴

氏名（ふりがな）	郡山 太郎（こおりやま たろう）		
所属・役職名	福島工科大学産学連携センター 教授		
学位	① 授与機関  ② 学位 （博士・修士・学士・なし）  ③ 取得年  ④ 専攻		
研究経歴	実施年度	研究名	備考
研究業績・主要論文			
現在までに本人が発明者となっている特許			
備考			

## 3-2 研究リーダーの経歴

氏名（ふりがな）	会津 花子（あいづ はなこ）		
所属・役職名	福島工科大学ロボット学科 教授		
学位	① 授与機関  ② 学位 （博士・修士・学士・なし）  ③ 取得年  ④ 専攻		
研究経歴	実施年度	研究名	備考
研究業績・主要論文			
現在までに本人が発明者となっている特許			
備考			

## 記入例

年 月 日 時点

### 3-3 大学・高等専門学校の研究開発者名簿

No.	専属	新規	氏名	所属・役職	当事業での具体的な役割・専門分野
1	○		会津 花子	福島工科大学 ロボット学科 教授	研究リーダー ○○の設計・開発
2	○		南 相馬	福島工科大学 ロボット学科 研究員	△△の設計・開発
3		○	Date Iwaki	福島工科大学 特任研究員	□□□制御技術の開発のため
4					
5					

※「専属」は、当事業以外に従事しない研究員がいる場合には、「○」を記入してください。

※「新規」は、当事業の目標達成のために必要な研究員を新たに県外から招聘する場合には「○」を記入してください。

補助事業に関する予定の研究開発者及びその役割を全て記入してください。  
プロジェクトマネージャー及び当名簿に記載の研究員のみを旅費、直接人件費の補助対象とします。(ただし、直接人件費については、任期の定めのない研究員・職員に対する人件費は除きます。)

## 記入例

### 3-4 共同研究を行う予定の県内企業概要

#### 【県内企業①】 ※共同研究企業自らが記入すること

企業名称（ふりがな）	株式会社■■■			
住所（本社）	福島県南相馬市原町区・・・・			
住所 （県内拠点）				
従業員数	名			
設立年月日	年      月      日			
事業内容				
担当者氏名（ふりがな） 電話番号 E-mail				
研究開発者名簿		氏名	所属・役職	当事業での具体的な役割・専門分野
	1			
	2			
	3			
研究開発上の役割	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">                     評価資料としますので、簡潔かつ具体的に記入してください。                 </div>			
研究開発上の役割に関する当企業の強み				
共同研究によって当企業が得られる波及効果（技術力向上、実用化開発など）				
本事業での支払予定金額	円			
備考				

※企業数が更にある場合は必要に応じて表を編集して記載してください

## 記入例

【県内企業②】※共同研究企業自らが記入すること

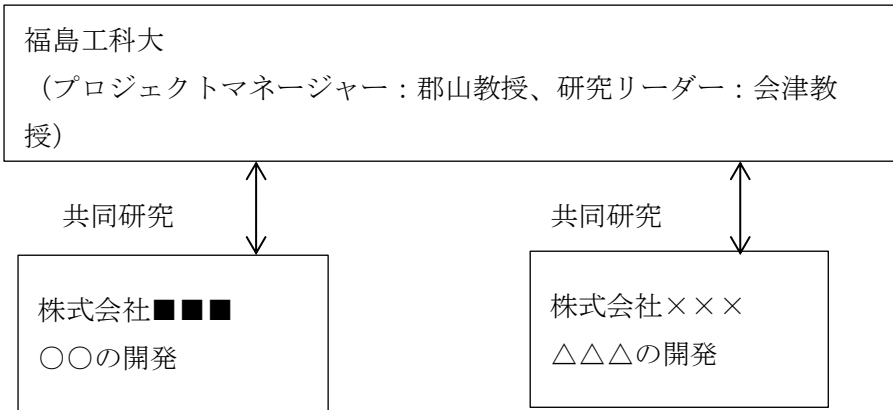
企業名称（ふりがな）				
住所（本社）				
住所 （県内拠点）				
従業員数	名			
設立年月日	年	月	日	
事業内容				
担当者氏名（ふりがな） 電話番号 E-mail				
研究開発者名簿		氏名	所属・役職	当事業での研究者の役割・専門分野
	1			
	2			
	3			
研究開発上の役割	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;">                     評価資料としますので、簡潔かつ具体的に記入してください。                 </div>			
研究開発上の役割に関する当企業の強み				
共同研究によって当企業が得られる波及効果（技術力向上、実用化開発など）				
本事業での支払予定金額	円			
備考				

※企業数が更にある場合は必要に応じて表を編集して記載してください

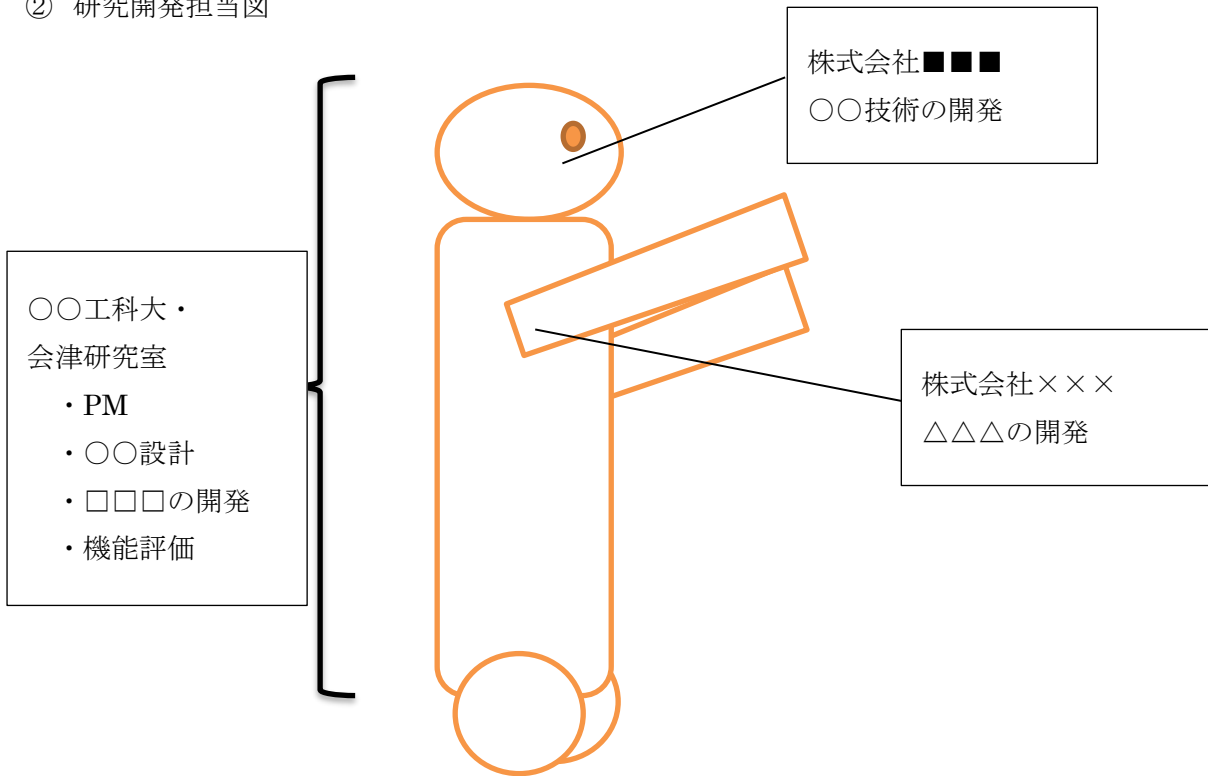


3-5 研究開発体制図

① 研究開発関係図



② 研究開発担当図



研究開発体制図については、別添資料での提出も可とします。

ただし、研究開発のどの部分を大学が、どの部分を企業が担当するのか図で明確にわかるように示してください。特に「共同研究」を行う企業の担当は必ず記入ください。

※計画が採択された場合、この研究開発体制図をもとに実施されているものと想定し、補助金の算定を行います。体制に変更があった場合は、速やかに県担当者に連絡し変更後の研究開発体制図を提出してください。

# 記入例

## 4 研究開発のスケジュール

### 4-1 年度スケジュール（令和6年度）

交付決定後、3月末までの計画を記載してください。

（研究開発実施スケジュール、試作品完成時期、実証実験実施時期など）

実施内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●●モデルの作成 (担当する大学・企業名)												
●●モデルの作成 (福島工科大学)							→					
△△ロボの設計 (福島工科大学)								→				
〇〇〇技術の開発 (株式会社■■■■)									→			
▲▲▲ネットワークの構築 (福島工科大学)									→			
△△△の開発 (株式会社×××)										→		
実証実験 (福島工科大学)(■■■■)(×××)												→

※計画時期を → で示してください。



# 記入例

4-3 3カ年参考開発スケジュール

実施項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(担当する大学・企業)			
〇〇〇の設計	—————→		
(福島工科大)			
□□□の開発		—————→	
(福島工科大)			
▲▲▲ネットワーク構築			—————→
(福島工科大)			
〇〇技術の開発		—————→	
(株式会社■ ■ ■)			
△△△の開発		—————→	
(株式会社× × ×)			
〇〇〇の調査		—————→	
(株式会社# # #)			
△△△機器の機能評価			—————→
(未定)			
福島ロボットテストフィールドでの評価実験			—————→
(福島工科大、株式会社〇〇)			

※実施項目は具体的かつ明確に記入してください。

※計画時期を —————→ で示してください。

5 県内ロボット産業振興

(1) 県内企業や県内のロボット産業振興に対して期待される効果

適宜行を追加して作成してください。審査資料となりますので、簡潔かつ具体的にご記入ください。

(2) 本事業における福島ロボットテストフィールド利活用計画

具体的な計画があれば、対象施設・設備とともに記載ください。

6 本事業に関連する他の補助事業等の実施の有無

有 ・ 無

※「6 本事業に関連する他の補助事業等の実施の有無」について「有」と回答した場合は、重複支援を排除する観点から、(別紙)「類似計画等状況説明書」に記載してください。当該説明書は1類似計画ごとに作成してください。

類似計画等状況説明書

事業名称	
事業主体 (関係省庁等)	
テーマ名	
共同研究先の企業 (他企業等と連携している場合)	
研究開発等実施者	
提案額	円
研究期間	
研究開発内容	<p>産学連携ロボット研究開発支援事業以外に補助金を受けている（または補助金を申請中）の場合は、必ずご記入ください。原則として、1つの開発事業について補助金を複数受けることはできません。未申告により複数の補助金を受領した場合、いずれの補助金も取消・返還になる場合がありますのでご注意ください。</p>
その他（備考）	

## (様式3) 収支計画書

## 1 収入の部

(単位：円)

	予算額	金額の内訳
自己資金	300,000	大学研究室資金
借入金	0	
その他	0	
補助金申請額	20,000,000	福島県補助金
合計	20,300,000	

## 2 支出の部

(単位：円)

	予算額	補助申請額	金額の内訳
謝金	500,000	500,000	別紙「経費積算内訳」のとおり
旅費	700,000	700,000	
事務等経費	<u>800,000</u>	<u>500,000</u>	
消耗品費	500,000	500,000	
機械装置費	5,500,000	5,500,000	
外注費	3,000,000	3,000,000	
直接人件費	5,000,000	5,000,000	
委託費	4,300,000	4,300,000	
その他	0	0	
合計	20,300,000	20,000,000	

※金額の内訳欄は、別紙「経費積算内訳」を利用して積算の根拠を具体的かつ詳細に記入してください。

※令和6年度の事業実施期間に支出するものについて記入してください。

「予算額」：自己負担含む全体額

「補助申請額」：予算額のうち、上限2000万に落とし込んだ額。  
自己負担がない場合は、予算額＝補助申請額となります。

「金額の内訳」の記載は、「経費積算内訳」の提出で代用可能です。